

## **2025年度 事業計画**

2025年4月1日～2026年3月31日



## ＜2025年度 事業計画＞

(2025年4月1日～2026年3月31日)

### ＜Vision＞

「 広告業界の未来のために、 J A A A は広告の価値と魅力を創造し向上させるエンジンとなる 」

2025年は戦後80年、NHKラジオによる放送開始100年など歴史の節目を感じる年となり、1950年に「日本新聞広告業者協会」として設立されたJAAAも今年75周年を迎えます。戦後の広告業は大量生産・大量消費による経済成長に寄与することで、産業として大きく成長し日本経済に欠かせない機能を担ってきました。

JAAA設立以降75年の歴史を振り返ると、新聞、そしてテレビを中心とした4マスメディア中心の広告ビジネスから大きな変化が起き、現状ではインターネット広告が市場の約半分を占めるようになっています。テクノロジーの進化とインターネットの普及により、広告の民主化ともいえる状況が発生し、数多くのプレイヤーが参加し、様々な広告手法が生み出されてきました。消費者接点が劇的に広がるにつれて、広告の活動領域と可能性が広がる一方、広告の存在をネガティブに捉える意識が高まり、信頼性を棄損するような広告が散見されるなど、広告が社会に健全な価値を提供し続けるために解決すべき課題が山積していることを痛感します。

広告は平和産業であり、人々の生活を豊かにするという大きな役割をもっています。単なる販売促進の手段ではなく、人の気持ちをポジティブにし、社会課題の解決に寄与する力を持っています。広告の信頼性確保と新たな価値提供によって広告業界全体がさらに成長を遂げるために、会員各社が自らの課題を可視化し、必要な変化対応と新たな戦略ストーリーを描いて実行することが欠かせません。

JAAA75周年となる本年にあたり、JAAA全体で広告の現在地を確認し、広告の力を信じて、広告の可能性と提供価値を高めるための活動に注力して参ります。

### ＜Action Plan＞

#### 1. 広告の価値再発見とビジネス成長への貢献

インターネット広告が最大シェアを占める現在の広告市場において、広告ビジネスのプレイヤーが多様化すると同時に、生活者の広告に対する意識や広告主の期待も大きく変化しています。広告会社の最大の強みである「クリエイティビティ」を起点としながらも、広告主や社会に対する価値提供のありかたについて、全ての広告会社が思考を深めることが必要です。JAAAは会員社が広告の価値を高め、ビジネス成長するための情報・機会提供を行ってまいります。

#### 2. 広告業界の人材基盤強化

広告は人のみが価値を生む産業であり、優れたクリエイティビティと実行力を持つ人材を確保し続けることがビジネス成長の生命線です。残念ながら広告業界の魅力が相対的に低下し、人材不足

が「質・量」ともに顕在化しており、広告業界の将来を担う人材基盤の弱体化が課題になっています。JAAAでは会員社の人材基盤強化に資する施策を提供し、全ての人々がプライドとモチベーションを持って広告の仕事に取り組む環境整備に努めます。

### 3. 社会から信頼され、社会課題に貢献する存在へ

広告の民主化によって、発信される広告のなかには信頼性を棄損するケースが存在します。また全ての企業経営には、法令順守はもちろんコンプライアンス・適切なガバナンス・高い倫理観が必要条件として求められています。JAAAでは自ら制定する倫理綱領に立ち戻り、広告業界の信頼性維持に取り組むと同時に、環境・人権など「SDGs」に代表される社会課題に常に目配りし、DE&I推進や脱炭素化など広告業界全体としてフォーカスすべき課題に積極的にコミットしていきます。

#### <75周年事業の実施>

JAAAの事業目的は定款に以下の通り定められています。

「会員に共通する利益を図るため、広告業の健全な発達と広告活動の改善向上に関する事業を行い、併せてわが国経済の発展と国民生活の向上に寄与すること。」

2025年にJAAA設立75周年を迎えるにあたり、この事業目的に立ち返り、会員社のさらなる発展と広告業の社会への価値提供向上に寄与する周年事業を実施します。

75周年事業の目的は、JAAA会員社および会員社社員が自ら成長シナリオを描くために、「広告と自社の現在地」を確認し、「未来への向き合い方」を考えるための「キッカケ」を提供すること、とし、そのためのイベントや情報提供基盤であるJAAAサイトの整備を実施する予定です。

#### <各委員会 事業計画>

##### ◆ビジネス統括委員会（担当理事：神田橋治 委員長：松本千里）

広告会社の経営合理化に関する諸問題を研究する。

##### 1. 委員会活動

経理委員会、情報システム委員会、法務委員会、制作取引委員会、営業委員会、著作権委員会、広告の機能と役割研究委員会、CSR委員会、広告問題研究委員会からの報告を受ける。

##### 2. その他

広告業界の課題を整理し意見交換やディスカッションを行う。

##### ・経理委員会（委員長：長森秀樹）

1. 経理業務に関する情報交換、課題の検討、研究を行う。

2. 会員社に向けて、経理業務に関わる情報の発信を行う。

・ **情報システム委員会（委員長：奥村卓也）**

情報システムに関連する情報交換を行い、共有できる情報を会員社に発信していく。

1. 委員各社の情報交換

- ①情報システムに関する定期アンケートを実施しその結果をJAAAウェブサイト等を通じて会員社へ報告する。
- ②直近の課題について委員各社間で情報共有を図る。

2. ワーキンググループの活動

環境の変化に対応し、既存のワーキンググループの活動も適時見直して活動対応を行う。

- ①Office 365 ワーキンググループ
- ②情報セキュリティワーキンググループ
- ③BCP ワーキンググループ

・ **法務委員会（委員長：長谷川雅典）**

1. 法務関連問題への対応と会員社への情報発信
2. 広告法務セミナーへの対応・実施協力
3. 他の委員会・広告業関係団体との連携および情報交換

・ **制作取引委員会（委員長：沼澤忍）**

1. CM素材オンライン運用推進プロジェクト等、他の委員会・団体との連携協力
2. 字幕付きCM普及推進協議会（構成3団体：日本アドバタイザーズ協会・日本民間放送連盟・日本広告業協会）への協力
3. 広告会社の制作取引に関する情報共有、意見交換、課題対応等

・ **営業委員会（委員長：木内伸雄）**

広告会社の営業諸課題について、会員社営業セクションへの情報共有を行うとともに、各委員会の課題解決に際して会員社営業セクションからのフィードバックを行う。

1. CM素材オンライン運用推進プロジェクト等、他の委員会・団体との連携協力
2. 広告会社の営業諸課題の情報共有、他団体との意見交換の実施

・ **著作権委員会（委員長：渡部秀人）**

1. 日本アドバタイザーズ協会法規制セミナーへの講師派遣
2. JAAA会員社向けセミナーの実施
3. その他、勉強会・ヒアリングの実施等

・ **広告の機能と役割研究委員会（委員長：河原大助）**

新たなテーマでの広告の「機能と役割」を調査分析し、会員社に向けてナレッジ発信を行うことで広告の価値向上を目指す。

## ・CSR委員会

様々な社会課題・CSRテーマと、広告業界・広告との関わりを情報収集、発信する等の活動を行う。

### 1. セミナー、勉強会実施の検討

「ダイバーシティ」「ジェンダー」「環境問題」「SDGs」等について、会員社のソーシャルなテーマに対する理解促進となるよう、セミナーや勉強会を企画検討する。

### 2. 『広告人のためのCSRコミュニケーション入門』普及促進

2021年に発行した標記冊子の普及促進に向けた活動を行う。

## ・広告問題研究委員会

広告業に関わる国の施策に関わる課題の検討、研究を行う。

### 1. 官庁からの諮問等に速やかに答申できるよう官庁別担当制に基づき活動する

### 2. 広告業に関わる情報交換、社会的な課題の検討、研究を行う

### 3. 会員社に向けて、広告業界の新たな業務に関わる情報の発信を行う

## ◆メディア委員会（担当理事：高坂俊之 委員長：永井聖士）

### 1. 広告メディアに関する研究

#### ①各委員会とプロジェクトによる検討

#### ②関係団体との意見交換

- ・日本民間放送連盟との協力と連携
- ・広告メディアに関する関係団体との協議

### 2. 広告メディアの課題への対応

#### ①各委員会による連携、及び横断対応

## ・テレビ委員会（委員長：相坂勇人）

### 1. テレビ広告取引の研究

#### ①放送確認ワーキンググループ

- ・放送確認書のさらなる精度向上を目的に「放送確認書誤記載調査」について検討とまとめを行う
- ・年2回（上期・下期）の放送確認書誤記載調査を実施する
- ・メディア業務改善委員会の協力を得て、放送確認の次世代方式（ペーパーレス化含む）の推進に協力する

#### ②同時配信検討ワーキンググループ

- ・在京5社同時配信サービス営業ワーキンググループと協調し、リアルタイム配信（同時配信）に関する情報共有や対応を行う

### 2. テレビCM素材オンライン運用促進への取り組み

#### ①CM運行ワーキンググループ

- ・民放連CM運行ワーキンググループと協調し、CM素材オンライン運用について検討を行う
- ②CM素材（MXFファイル）の運用
- ③共通コード管理センターに対する支援
- 3. 「テレビ広告取引に関する民放連・業協懇談会（テレビ広告懇談会）」にて、日本民間放送連盟と情報共有、及び協議を行う
- 4. 字幕付きCM普及推進協議会（第11期）
  - 日本広告業協会が第11期主幹事務局として、協議会の活動を担務する
  - ①協議会の構成3団体として、運営委員による普及推進活動を行う
  - ②全日本広告連盟の協力を得て普及活動を行う
  - ③字幕付きCM検討ワーキンググループは、協議会の普及活動をサポートする

#### ・ラジオ委員会（委員長：木村直之）

1. ラジオCM素材搬入基準適用の普及促進活動
  - ①2024年11月の搬入基準適用を受け、発生するイレギュラーケースへの対応と、会員社への周知活動の実施
2. ラジオCM取引及び素材のデジタル化運用促進活動＜日本民間放送連盟と協働＞
  - ①「ラジオCM素材オンライン送稿システム」ラジオ業務の効率化を推進
  - ②「ラジオCM素材オンライン送稿システム」普及促進
3. ラジオ広告活性化に向けた研究と活動
  - ①研究……ラジオ広告のデジタルシフトに向けた研究、ヒアリング
  - ②活動……ラジオ広告関係者に向けた、ラジオ広告の活性化セミナーの企画と実施

#### ・新聞委員会（委員長：出光淑子）

1. 新聞広告掲載確認調査の実施
  - ①第三者機関のモニタリング調査による掲載確認の実施と調査手法の検討
  - ②日本新聞協会加盟新聞社からの報告書の提出と日本アドバイザーズ協会への報告
2. 新聞広告の価値向上
  - ①セミナー等の企画と実施

#### ・雑誌委員会（委員長：前川昌子）

1. 雑誌広告の価値向上
  - ①雑誌広告の課題抽出と検討
  - ②関係団体とのセミナー開催等連携の検討等

#### ・交通広告委員会（委員長：青柳淳英）

1. 関係団体との連携と情報交換
  - ①日本鉄道広告協会（JAFRA）との連携
  - ②関東交通広告協議会（11社会）との連携
  - ③日本アドバイザーズ協会との連携

④OOH新団体との連携

2. 交通広告の価値向上

①交通広告の課題抽出と検討

②交通広告セミナー等の検討

・ **インターネット広告委員会（委員長：石川直樹）**

1. デジタルマーケティング領域における広告会社のプレゼンスアップ

①外部イベントへの参画

②セミナー等の企画、実施

2. インターネット広告に関する情報収集とナレッジシェア、その他課題への対応について

①デジタル広告品質認証機構（JICDAQ）への運営参画

②海賊版サイトへの対応

③各ガイドラインの見直し

・ **メディア調査研究委員会（委員長：河村徹生）**

1. メディア調査・メディアソリューションに関する研究・対応

①視聴率調査

2. 統合指標に関する研究

・ **メディア業務改善委員会（委員長：井上聡）**

1. CM素材オンライン運用推進プロジェクトの運営・実施

2. CMオンライン普及プロジェクトによる実務調整

3. オンライン運用のステークホルダーに対する対応

4. 放送確認書オンラインの計画・検討

5. その他業務改善の具体的検討

6. 日本広告業協会内の各委員会との連携

・ **CM素材オンライン運用推進プロジェクト（リーダー：井上聡）**

1. CM素材オンライン運用推進プロジェクトの活動

①普及促進活動

②ステークホルダーへの対応

2. 新課題への対応

①完全クラウド対応のCMオンライン送稿

②広告EDIセンターとの連携による課題対応

③XDCAMディスクの出口戦略

④完全オンラインネイティブなCM素材ファイルの検討

・ **OOH新共通指標策定プロジェクト（リーダー：櫻井順、高橋隆晃）**

1. 日本版OOHメジャメント標準化検討準備委員会の運営

## 2. 日本版OOHメジャメント標準化検討準備委員会が設立する新団体との連携

### ◆クリエイティブ委員会（担当理事：菊地英之 委員長：藤井久）

クリエイティブ関係者の資質向上とクリエイティブに関する研究、情報交換等を目的に以下の活動を行う。

#### 1. クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞

- ①2024年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の表彰
- ②2025年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の募集及び審査員の推薦・承認

#### 2. クリエイティブ講演の開催

クリエイター・オブ・ザ・イヤー受賞者の講演などを通じて、クリエイティブの力を世の中にアピールすると同時に、業界のクリエイティブ力強化と、業界若手の育成を推進する。

#### 3. クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の見直し

- ①引き続き、賞と選考（規約、体制、賞の種類）のあり方等の見直しを実施する。

#### 4. 広告会社のクリエイティブティについての研究・検討

- ①広告会社のクリエイティブティについて新たなテーマの検討、ヒアリング等の実施
- ②他の委員会との連携によるテーマの検討（生成AI、SDGs等）

### ◆マネジメント委員会（担当理事：中島明美）

傘下の8つの事業委員会や一部ビジネス統括委員会傘下の委員会委員長と必要に応じて人材・働き方・社会課題テーマなど会員社のコーポレートガバナンス・業界全体のマネジメント課題を共有し、議論を行う。

### ・人材育成委員会（委員長：太田理奈子）

#### 1. 第52回新入社員教育セミナー

日 程 2025年4月8日（火）～4月11日（金） 9時30分～16時30分（4日間）

形 式 1日目～3日目は、講義Zoom配信

4日目はグループディスカッションを機会振興会館にて実施

参加費 44,000円（1名税込）

内 容 ・主なテキストとして「広告ビジネス入門（第25版）」を使用

・グループディスカッションのテーマに

「5年後の広告業界をより発展させるアイデアを考える。」

・グループごとに発表

#### 2. 第30回フォローアップセミナー

日 程 2025年10月～11月、2日間予定

#### 3. 対学生へのアプローチ、マスメディアン等他団体との連携

#### 4. その他

- ①上記以外のセミナーの検討

②各種イベントへの講師派遣は依頼に基づいて適宜対応する。

・**広告ビジネス入門発行委員会（委員長：恒川洋一）**

1. 「広告ビジネス入門」第25版について

2026年9月の発行に向けて、編集方針と執筆担当を見直し確認を行う。また、第25版の普及促進を行う。

・**懸賞論文委員会（委員長：中村信介）**

1. 第54回懸賞論文

①表彰式

日 時 2025年5月30日（金） 定時総会・表彰式

②入賞・入選作品集の発行（JAAAレポート臨時増刊号）

発行日 2025年5月30日（金）

③広報施策

- ・ウェブサイトを受賞者個人ページを作成、公開
- ・ウェブサイトファイナリスト作品（PDF）掲載
- ・金賞受賞者の論文要旨をアドタイに掲載、12月の会員代表者懇談会での講演

2. 第55回懸賞論文募集

①募集要項

- ・募集部門 『論文』 課題 変容する世界と広告  
『私の言いたいこと』 一般部門、新人部門、プレゼン動画部門、特別部門
- ・募集期間 2025年6月2日（月）～9月30日（火）
- ・審査 2025年10月中旬開始

②応募の促進

- ・SNS「珠玉のワンフレーズ」
- ・エントリー説明会の実施
- ・論文受賞者座談会
- ・新人座談会 他

・**海外交流委員会（委員長：渡辺学）**

1. 海外セミナーの企画と実施

目 的 海外広告界の動向についての知識を得ること

概 要 海外広告関係者を講師としたウェビナーの企画、開催

開 催 年数回の開催を予定

スピーカー 海外交流委員会委員、会員社海外支社担当者、会報「ワールド・アド・レポート」執筆者等

2. 海外広告関係団体への協力

- ①海外広告関係団体主催の国際会議や広告祭等へのオンライン参加への協力
- ②アドバタイジングウィーク・アジア（東京）への協力

### 3. 海外研修団への派遣企画

- ①テーマ、目標などを検討の上、研修派遣の企画を行う
- ②コロナ禍以前に行っていた欧米エリア、及びAPAC（アジア太平洋）エリア派遣などを企画し実施する

### ・イノベーション委員会

#### 1. 「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞（JAAA若手大賞）」についての運営

##### ①第12回本賞の発表及び表彰

発表予定日 2025年 4月 1日（火）

発表内容 審査結果、審査講評、本賞についての提言等

発表媒体 JAAA REPORTS 4月号、JAAAウェブサイト、他業界紙誌

受賞施策への伝達、特典の授与・送付等

##### ②第13回本賞の募集と審査

#### 2. 広告業のあり方、業界活性化のための施策を検討

### ・PR委員会（委員長：山崎正道）

#### 1. 広告業界のPR活動

広報活動や75周年事業のサポートを通じ、協会内各社への「気づきの提供」と「協会活動への理解促進」に寄与する

#### 2. 業界採用支援

外部との共催も視野に、イベント・ウェビナー等によって業界の魅力を発信することで、業界の採用支援に結びつける

#### 3. 協会広報活動

協会オウンドメディア（ウェブサイト・SNS）を活用した広報活動

### ・会報編集委員会（委員長：高澤正行）

2023年度より開始した会報誌一部ウェブ化について、また2026年度からの完全ウェブ化へ向けて議論を具体的に進めていく。

#### 1. 発行規模・公開頻度等

形態 冊子：B5判 表紙共16ページ程度・ウェブ記事

発行日 冊子：年6回（4/7/9/11/1/3月の1日）・ウェブ記事：毎月1日

部数 3,400部

配布先 会員社、各地区広告業協会、関係団体、広告学会・広研、業界紙誌、官公庁、掲載誌

### ・DE&I委員会（委員長：口羽敦子）

DE&I委員会は以下の3点を活動の目的として、広告業界のアクション（インターナル）と、別業界／対外的なアクション（エクスターナル）の2つに分けて、DE&I推進に向けた活動を行う。

#### 1. 業界の成長（広告人全員活躍。多様性なくして中長期における成長はない）

- 2. 生活者への責任（本業界の影響力を正しく把握した行動が求められる）
- 3. ステークホルダーへの説明（広告業界・各社への評価、レピュテーション）

2025年度は、経営層、広告業界（JAAA会員社）、広告業界で働く個人へのアプローチといったコア課題への対応も進める。

◆**運営委員会（委員長：水島正幸）**

理事会への提出議案及び協会運営に関する事項について検討を行う。

・**財務委員会（委員長：曾我有信）**

年度決算案および年度収支予算案について検討する。

・**入会資格審査委員会（委員長：中島明美）**

入会希望会社の入会資格審査を随時行う。

・**吉田秀雄記念賞選考委員会（委員長：神田橋治）**

吉田秀雄記念賞選考を行い、定時総会後の贈賞・表彰式にて贈賞を行う。

・**役員選挙管理委員会（委員長：内藤好之）**

役員候補者（任期2年）選挙の対応を行う。

・**脱炭素化研究会（リーダー：古田豪見）**

日本におけるマーケティング領域からの二酸化炭素排出量の可視化基準及び算定ツールの構築と標準化、その普及と運用を目指す。